

教科		地歴公民		科目	世界史探究	
単位数	4単位	開講年次		3	使用教材	教科書、問題集(ワークブック)、資料集
分類・帯	進学系列・S1 S2					
科目説明	原始・古代から近・現代までの世界各地の歴史の大まかな流れを理解し、19世紀以降の一体化した世界の歩みを詳しく学習し、受験にも備えます。同時に、戦後の歴史も学習します。					
選択生徒像	歴史が好きでより詳しく世界史を学習したい生徒。					
選択条件	なし					
備考	なし					
目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を日本の歴史と関連づけながら理解し、文化の多様性や現代社会の特質を広い視野から考察する。歴史的思考力をもとに主体的に生きる自覚と資質を養う。					
評価方法	知識・技能: 思考・判断・表現: 主体的に学習に取り組む態度 = 4:3:3 ・定期考査(年4回) ・ノート点検 ・授業態度					
学期	月	単元			指導内容	
前期	4	第1章(1) 地球環境から見る人類の歴史			地球環境から捉えた人類の歴史を学ぶ。	
	5	第1章(2) 日常生活から見る世界の歴史			日常生活と世界史との結びつきを学ぶ。	
	6	第2章(1) 諸地域の歴史的特質への問い			諸地域の文明・文化の共通点・相違点を学ぶ。	
		前期中間考査				
	7	第2章(2) 古代文明の歴史的特質			古代の文明の共通点・相違点を歴史的資料から読み取り、学ぶ。	
	9	第2章(3) 諸地域の歴史的特質			諸地域の文明の共通点・相違点を歴史的資料から読み取り、学ぶ。	
前期期末考査						
後期	10	第3章(1) 諸地域の交流・再編への問い			ユーラシア大陸を通じての諸地域同士の交流の意義を学ぶ。	
	11	第3章(2) 結びつくユーラシアと諸地域			ユーラシア大陸・海上を通じての諸地域との交流の意義を学ぶ。	
		後期中間考査				
	12	第3章(3) 世界市場の形成と諸地域の結合			産業革命以後の世界市場の形成のあり方とその影響を学ぶ。	
	1	第3章(4) 帝国主義とナショナリズムの高揚			各国のナショナリズムの高まりと帝国主義のあり方を総合的に学ぶ。	
	2	学年末考査				
3						